

平成28年7月19日



大豆情報 第2号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

今年は7月2日から播種が始まり7日までに約90haのほ場で播種されました。播種時の土壌水分が発芽に適当であったため播種4日後には出芽しましたが、8日、11日、12日の断続的な降雨があり、13日未明の集中豪雨により宗像市玄海地区の一部のほ場で数時間から20時間冠水しました。今後の苗立ち状況を見て播き直しの判断をします。また、冠水に至らなかったものの、多くのほ場では、畝間や一部畝上に水が溜まっていたが、**部会員の作溝等排水の努力**により回復するほ場が多いと思われます。

17日21時の天気図では、梅雨前線が九州中部にかかっていたが、18日12時には梅雨前線は消滅し「梅雨明け」となりました。今後安定した晴天が予想され、今まで播種を控えていた圃場も適期内に播種が行われるようお願いします。



明渠により、表面排水を促している圃場

1. 適期播種

- 播種適期は7月10～20日としていますが、20日を過ぎる場合でもできるだけ早く播種しましょう。
- やむを得ず25日以降に播種がずれ込む場合は、むなかた専用48号を10kg/10a施用してください。
- 播種密度と播種量の目安は、以下の表を参考にしてください。

播種期	7月25～31日
条間 (cm)	50～70cm
株間 (cm)	11～15cm×2粒
播種量 (kg/10a)	8

※8月以降の播種量は、10～12kg/10a。

2. 中耕・培土

中耕・培土は、雑草対策や倒伏防止、排水対策、不定根の発生促進など、多収栽培のためには、重要な作業です。下表の時期を目安に実施してください。



1回目	本葉3葉期に子葉節まで培土（播種後約2週間目頃）。
2回目	本葉5葉期に初生葉節まで培土（播種後約3週間目頃）。

3. 雑草対策

中耕・培土でも対応できない雑草は、生育期除草剤で防除してください。

除草剤名	対象雑草	処理時期	使用量	希釈水量/10a
ポルトフロ アブル	一年生イネ科雑 草 スズメノカタビ ラを除く	イネ科雑草3～ 10葉期（収穫3 0日前まで）	200～ 300ml	100㍓
大豆バサグ ラン液剤	一年生雑草 イネ科を除く	大豆の2葉期～開 花前（雑草の生育 初期～6葉期）収 穫45日前まで	100～ 150ml	100㍓

※周辺に水稲ほ場がある場合は、水稲にかからないように注意してください。

4. 病虫害防除対策

○ ハスモンヨトウ

白変葉（ふ化幼虫が集団で葉を食害し葉脈のみを残したもので、葉が白く見える）の発生に注意し、白変葉を見つけ次第、取り除いてください。

防除時期等については、次号でお知らせします。

★農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース）を洗浄
- ④ 防除履歴の正確な記帳